

ワークショップ「聴覚障害学生の意思表示支援とは―支援担当教職員の役割を中心に―」 開催要項

目的：

平成 28 年度から障害者差別解消法が施行されたことにより、大学における合理的配慮の提供が義務化しました。そのため、従来聴覚障害学生が入学したことのない、あるいは支援提供の経験がない機関においても、今後何らかの支援提供が拡大していくことが予想されます。

聴覚障害学生への支援の提供においては、本人からの意思表示に基づいて合理性が判断され、関係者の合意の下で実施されることとなります。一方で、大学入学以前に支援の乏しい環境で過ごすことの多い聴覚障害学生は、自ら意思表示する機会を奪われていることが少なくありません。それゆえ、本人からの意思表示を促す支援が必要となってきます。しかしながら、大半の支援環境においては、キャンパスライフにおける聴覚障害学生の意思表示プロセスにともなう支援が不十分であり、それゆえ本人が支援の改善を表明して支援を行う段階までに至らないことが課題とされています。

そこで、筑波技術大学に事務局を置く日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）では、聴覚障害学生の意思表示プロセスにおける支援の具体的な取組内容や支援担当教職員の役割について明らかにすることを目的に、モデル事例構築事業「聴覚障害学生の意思表示支援～支援担当教職員の役割を中心に～」として、インタビュー調査等を進めてきました。

本ワークショップは、本事業の一環として、障害学生支援の担当教職員を対象にこれまでの調査内容をもとにした聴覚障害学生の意思表示に関わる 2 つの事例についてグループディスカッションを行い、聴覚障害学生が意思表示にいたるまでの過程や、彼らへの必要な支援について学びあうことを目的として開催します。

主 催：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）

日 時：2016 年 11 月 3 日（木・祝）10：30～15:00

会 場：秋葉原コンベンションホール 5 階 5C 会議室
（東京都千代田区外神田 1-18-13 ダイビル 5F）

対象者：高等教育機関で聴覚障害学生を含む障害学生への支援業務を担当している教職員

定 員：30 人（先着順。定員に達し次第締め切りとします）

参加費：無料

その他：（情報保障）すべてのプログラムに手話通訳、パソコン通訳がつきます。

（昼食）お弁当（お茶付）を 1000 円でご用意します。ご希望を申込書にご記入ください。

スケジュール：

| 時間 | プログラム |
|---------------------|---|
| 10:30 10:45 | 開会式 |
| 10:45 11:45 | 基調講演「大学生の援助要請行動のプロセスから 考える障害学生支援」 講師：大阪国際大学 学生総合支援部 学生相談室 木村真人氏（博士（心理学）） |
| 11:45 12:15 | 論点整理および質疑応答 （代表質問ならびにフロアからの質問） |
| 12:15 13:15 | 昼食休憩 ※注文のお弁当以外の持ち込み飲食はできません。 注文以外の方は近隣の飲食店をご利用ください。 |
| 13:15 14:45 | グループディスカッション 「聴覚障害学生の意思表示を引き出す支援とは」 （いくつかの事例をもとにグループディスカッションを行います） |
| 14:45 15:00 | 総評 |

申し込み：別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、申込期間内に下記へ郵便、FAX、
E-mail にてお送りください。

（申込期間：10月14日（金）～10月27日（木）17時）

※先着順、定員に達し次第締め切りとします）

〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15

筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター内

PEPNet-Japan事務局（担当：萩原、中島）

電話・FAX：029-858-9438 E-mail：request@pepnet-j.org

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）平成28年度モデル事例構築事業メンバー

○吉川あゆみ（関東聴覚障害学生サポートセンター）

有海順子（関東聴覚障害学生サポートセンター）

甲斐更紗（関東聴覚障害学生サポートセンター）

益子 徹（関東聴覚障害学生サポートセンター）

池谷航介（大阪教育大学）

太田琢磨（愛媛大学）

木谷 恵（立命館大学）

松崎 丈（宮城教育大学）

※○は事業代表、事業代表以下五十音順